

J. ブラームス J. Brahms (1833-1897)
墓地にて

H. ロット H. Rott (1858-1884)
すみれ

H. ヴォルフ H. Wolf (1860-1903)
尽きることのない愛
捨てられた娘
旅先で
ミニヨン I, II, III
ミニヨンの歌

G. マーラー G. Mahler (1860-1911)
私の歌を覗かないで

R. シュトラウス R. Strauss (1864-1949)
赤いばら

H. プフィッツナー H. Pfitzner (1869-1949)
捨てられた娘

A. v. ツェムリンスキー A. v. Zemlinsky (1871-1942)
昼はすべての苦しみを

E. v. ドホナーニ E. v. Dohnányi (1877-1960)
森の精

F. シュレーカー F. Schreker (1878-1934)
遊糸

E. W. コルンゴルト E. W. Korngold (1897-1957)
夏
ほか

やわらかな糸

— 黄昏れゆくウィーンのしらべ —



安田久美恵
ソプラノ

Parte Fäden

2018年11月15日[木] 19:00 開演

MUSICASA

ムジカーザ 渋谷区西原3-33-1
小田急線・東京メトロ千代田線代々木上原駅東口より徒歩2分

全席自由 4000円

ご予約・お問合せ (マネジメント): オフィシャルシュ

tel.03-3565-6771 www.officearches.com

チケット取扱い: イープラス <http://eplus.jp>

安田久美恵 ソプラノ

バロックから古典派の作品やドイツ歌曲を主なレパートリーとして活動。声楽を朝倉蒼生、渡邊明、牧野正人の各氏に師事。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。優秀賞受賞。1993-4年、ウィーンに留学し、オルガ・ワルラ・コロ女史に師事。国立音楽大学音楽研究所研修生としてイタリア初期バロックの歌唱法を学ぶ。1996年、友愛ドイツ歌曲コンクール第2位。ヴィヴァルディ「グローリア」、バッハ「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」「短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「第一戒律の責務」、ハイデン「ネルソン・ミサ」、フォーレ「レクイエム」など、宗教曲のソリストを多く務める。また近年では、近現代の作品や日本歌曲の演奏、朗読にも取り組む。立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊声楽指導者。

久元祐子 ピアノ

東京藝術大学を経て同大学院修了。ウィーン放送響、ラトビア国立響、読響、新日本フィル、神奈川フィル、日本フィル、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など内外のオーケストラと多数共演。歴史的楽器を用いたの演奏会や録音にも数多く取り組む。2011年、日本人で唯一ベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。2012年、14年、17年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。これまで「優雅なるモーツァルト」(毎日新聞CD特選盤、レコ芸特選盤)などCD13作をリリース。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)「リストとベーゼンドルファー・ピアノ」(学研プラス)など。国立音楽大学教授。
<http://www.yuko-hisamoto.jp/>



久元祐子
ピアノ